

# 2017.01.01 Kyoni Communication Paper NEW WAVE

プロフェッショナル購買 & 生産技術パートナー **kyoni**



## ロボット推進室の設立と 2017年のKYONI

代表取締役社長  
**井口宗久**



皆様、明けましておめでとうございます。

2016年を振り返るとイギリスのEU離脱決定やトランプ氏の当選など「予想外の出来事」が度重なる一年だったと感じております。

一方で京二の2016年がどうであったかと言うと中国や東南アジア経済の停滞継続の影響などもあり売上は約8%減少するなど非常に苦しんだ一年でした。

利益は販間費の引き締め、為替差損の改善などにより若干増加いたしました。が、商社として肝心の売上高の減少は環境の影響だけでなく、当社としての努力不足による要素が大きかったと深く反省しております。

### 2016年9月期 決算概要

- ・売上高：46億27百万（前期比7.8%減）
- ・営業利益：1億2百万（7%増）
- ・経常利益：1億44百万円（22%増）

### ロボット推進室の設置と 2017年度の取組について

まず、売上高は前期とほぼ同じ47億、利益については2%ほどの利益率での着地を目指しております。国内、海外の事業環境について様々な見方がありますが、当社としてはまだ厳しい環境が続くという見方で横ばいの数字設定としております。

そして今期からの新たな取り組みの目玉がロボット推進室の設置になります。

#### ■ ロボット推進室の目的、概要

ロボットは皆様もご存知の通り、日本、そして世界で間違いなく伸長して分野になります。

当社はロボットの販売自体は数十年行っており、

前期もそれなりの成果をあげてきましたが、販売は一部の分野のお客様に限られておりました。しかし、もっとロボット販売分野を広げること、販売を更に伸ばすことを目的として、専任営業兼全社のロボット販売推進をミッションとするロボット推進室を設置いたしました。

体制といたしましては前千葉所長の寺内がロボット推進室長に就任いたしました。まず、メーカーさんのご協力により、長期のロボットの研修を受けさせていただきました。

そして、自社でもロボット購入して、お客様のもとでデモを実施したり、自社で様々な動作、アプリケーションの検証ができたりする体制を整えております。

まだその活動はスタートしたばかりですが、お客様への提案、デモの実施や、各地域で各自動化分野（溶接、搬送、ピッキング、画像処理・・・）に強みをもつセットメーカーさんとの連携強化等に向けて精力的に活動を行っております。

ロボット推進室の設置は当社として新たなチャレンジになります。今回京二会でご講演をしていただいたニュースダイジェスト社の岩波徹様から「今そこにあるチャンスをつかめ」というお言葉をいただいております。まさに今そこにあるロボット市場の伸長というチャンスへ当社は人や物への投資を行い、販売を伸ばしていきたいと考えております。

## ■ 中国製品の新展開について

当社の中国工具、中国製品の販売事業は2006年のJIMTOFへの出展を皮切りに本格的に開始いたしました。2016年JIMTOFで10周年を迎えることができ、中国製品の売り上げは日本京二と京二上海併せて年約5億円にまで伸長させることができました。

そして、今後の展開といたしましては中国製品群の幅を広げること力を入れて参ります。中国製品については超硬工具、PCD工具を中心に販売をしておりますが、昨今では鋳物、砥石、バリ取りツール、ブラシなどの販売も開始いたしました。鋳物部品はある建機メーカーさんに採用いただき、安定供給を続けておりますし、バリ取りツール等は今回のJIMTOFでも常に多くの引き合いをいただいております。これからも商品の幅を広げる活動をしてまいります。

## ■ 新規開拓強化の継続

そして、ある意味では最も大事なのが、当社として根幹である「機械工具、搭載部品、水処理・環境機器」の新規開拓に力を入れ、それを継続していくことです。

これは商社としてやっていて当たり前のことですが、一方でこれまできちんと取り組めておらず、一昨年から重点テーマとして取り組んでおります。

前期は約38社と新たにお取引が始まり、全体の売上に占める新規顧客の売上比率は4.1%と一定の成果をあげることができたと考えております。

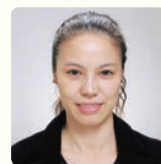
そして今期は弊社も出展したJIMTOFご来場者様との新規お取引引きや、仕入先さんとの共同開拓活動によって新規比率を5%まであげることが目標に活動してまいります。

こういった当たり前のことを継続し、そして成果を出すことが、そもそもの京二の体質を強くしていくのだと考えておりますので、強く推進をしてまいります。

2017年の京二の活動、そして新たな取り組みにご期待いただき、そして引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 中国工具10年変遷 —— 次の10年を目指せ

株式会社京二  
執行役員  
ゆ しん けつ  
愈 箴 潔



今回のJIMTOFの出展テーマは「日本中の切削コストを削る!」とした。

出展メーカーは株州工具を始め、超硬工具2社、ダイヤモンド工具3社、砥石メーカー1社、鋳物メーカー1社、ブラシメーカー1社、合わせて8社メーカーの共同出展となる。たくさんのメーカー取り扱って大丈夫か?と不安そうな声も社内外に聞こえていた。

なぜ多くのメーカーを取り扱うかの理由を申し上げたい。この10年間たくさんの工場を歩き回っている中、現場のお客様からこんな声があった。狭い分野の工具を取り扱うだけではなく、粗加工～仕上げ加工、バリ取り加工まで対応できる中国メーカーを探して欲しいという大手自動車メーカーの要望をきっかけにPCD、CBN工具からバリ取りツールまで取り扱うようになった。6年前の展示会で偶然にお会いしたお客様からいただいた部品図面から鋳造品の量産取引がスタートした。

京二の中国調達ネットワークをフル駆使し、工具のみならず、お客様ご協力、ご指導を頂きながら、良い品質、良い価格で日本製工業製品の同等品開発という分野が今後10年の開発方向としている。

## 精密加工分野での発展

2014年に北京ワールドダイヤモンド工具との取引開始。日本市場のPCD、CBN工具がほぼ飽和状態である現状を報告し、2016年JIMTOF向け真新しい商品を開発してきた。

PCD工具では珍しいマルチ刃設計高精度PCDフライスカッターや自社ホルダー付き鋳物加工用ソリッドCBNチップ標準シリーズが展示会で一番の目玉商品になっていた。

「ちょうど困っているからこのような商品があったよ良かった。」「設計理念は素晴らしい。きっと効率アップに繋がる。」というお客様の声は我々の絶大な動

力源になる。

商品群のベースになる株州工具に加え、上海ゾロンの特殊品、鄭州ダイヤ、上海山田の特殊PCD工具、北京ワールドダイヤ製標準PCDブレード付チップ、CBNチップ、フライスカッター、重切削向けソリッドCBNチップなどの製品群で鋼材、鋳物、アルミ合金、ステンレスの粗、仕上げ加工に全対応可能となる。

日本の有名企業から中国部品調達の見積依頼がきた時に中国の鋳造業界の調査をした。上海から200キロ離れている浙江省に、現地日系企業に多く部品を供給されるサプライヤーチェーンが存在していることがわかった。鋳物を始め、ステンレス鋳造品は大部分欧米向け輸出、アルミ鋳造部品は日本大手自動車メーカーや電子部品メーカーへ供給してきた。毎年厳しい日系監査の元、品質保証はもちろん、絶えずコストや納期短縮改善をされてきた。今回のJIMTOF出展によって今後日本国内のお客様への輸出取引も試みたい。日系本土企業に負けずスピードと技術能力で開発段階での参入が可能であり、お客様にとっても強力なコスト武器になるに間違いない。

お客様の御用聞きではなく、存在するニーズを発覚し、逆に新製品を推奨する事業が、京二海外事業が大きく脱皮するのだと期待する。

何もやらなければ何も始まらないと中国プロジェクトの口癖となり、他社や先輩がやっていなかったことにチャレンジし、結果を残せば、我々がやっていないことが後輩たちもきっとチャレンジしてくると確信している。魯迅先生の名言を借りながら説明すると「世の中にはルートは存在していない。歩く人が多くなればルートが自然に出来上がる」。京二の規模と力が大きくないが、微力でもお客様のために捧げれば悔いがない。

# 新設「ロボット推進室」について



ロボット推進室 室長

寺内 宏

74期初に「ロボット推進室」が新規設置となりました。あらためて推進室設立のご報告と活動のご案内をさせていただきます。

当部所は社長の井口の熱い思いから発足しました。現状を見据え将来核となる事業としてロボットを通じたトータルソリューション設備の提供を目指しています。これまでに京二が培った多くの経験と人脈を活かし幅広い提案活動を展開し進めてまいります。

## 目的

ロボット産業は工場のF A化の加速に伴い今後も需要拡大を見込める分野であることから専任担当部所を設置し拡販と需要底上げと新規顧客、新規分野への開拓を実施します。

## 提供ソリューション

### ① ロボット導入最適化提案

用途や設置条件に合わせた各種ロボットの選定と提案の実施

### ② ロボットシミュレーション

簡易ソフトによる稼働シミュレーション

### ③ ロボットデモ機

不二越MZ04による出張デモンストレーション

### ④ 画像処理判定

ワーク判定の実施。高度なシステムへの適応判断

### ⑤ システム装置の提案

F A化ライン装置の提案

## バックアップ体制

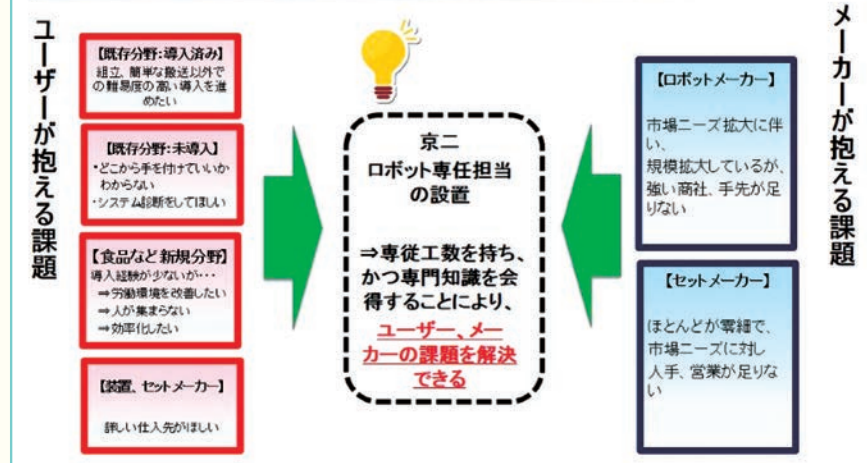
国内大手ロボットメーカーを中心とし各分野に精通したセットメーカー（S I）を活用したトータルソリューションの展開を実現します。



## デモ機出張します

\*当部所では多間接ロボット「MZ04」をデモ機としてお客様へ伺い実演を行っています。ロボット導入未経験のお客様に大変好評を頂いています。お気軽にお声がけください。

## 専任担当設置により解決できる課題



# JIMTOF2016及び京二会報告

## JIMTOF2016 中国工具10周年記念パーティー

弊社では中国工具の取扱いを始めて10周年にあたり、今回のJIMTOFのテーマは、「おかげさまで10周年 儲かる中国工具」にしました。お客様の工具コストの低減を目指す原点に立ち返り、幅広く提案を行う為に、超硬工具・PCD/CBN工具・砥石・鋳造部品のメーカー7社の展示を行ないました。

初日の17日には10周年を記念行事として、中国工具をお使いいただいているお客様をお招きし、東京ベイ有明ワシントンホテルにて株洲ダイヤモンド切削工具株式会社副総経理である塗更生様による「中国の超硬切削工具業界の動向」の講演、弊社執行役員・京二上海総経理である俞箴潔による「中国工具の十年変遷～次の十年を目指せ」の発表を兼ねたパーティーを開催いたしました。塗副総経理の講演では、現在の中国経済の状況が芳しくない中においても、技術革新により製造産業はよい方向に向かっており、工具産業については新技術の発展、合理化による競争力の強化が見込めると力強い内容でした。

期間中のお客様の反応は超硬特殊工具のゾロンやハードターニングが得意な北京ワールドダイヤに対し非常に高い関心を持っていただいた実感があります。また、株洲ダイヤモンド切削工具の皆様への認知度も高くなり、お客様からの具体的な

検討依頼も多く頂き、価格だけでなく品質面でも認めていただけるようになったと感じられました。

## 第22回京二会報告

弊社の主要なお客様、仕入先様等をお招きする「京二会」を、本年も恒例の12月の第一金曜日にあたる12月2日（金曜日）にハイアットリージェンシー東京B1F「天平」にて開催いたしました。

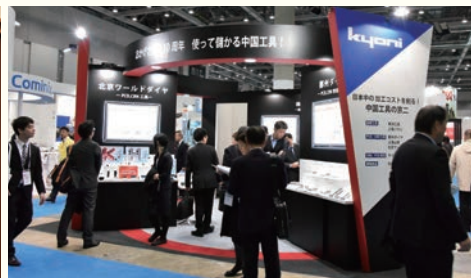
弊社代表取締役社長井口宗久より概況のご説明をさせていただいた後に、今期より新しい試みとして開設したロボット推進室室長寺内宏よりプレゼンテーションをさせていただきました。

メインイベントである基調講演では株式会社ニュースダイジェスト社 取締役東京支社長 岩波徹様による「JIMTOF2016を終えて～グローバル化する生産財業界の課題」というご講演を頂きましたがJIMTOFに関して、我々のような製造業にかかわるものとはまた別の視点からJIMTOFの問題点、本来のあるべき姿、また出展する上で目的を見失わないことなど貴重なご意見を頂きました。

その後会場を「飛鳥」に移し、株式会社第一測範製作所営業部長吉瀬淳様のご発声により懇親会が行なわれ、ご出席いただきました皆様の活発な情報交換の後に、株式会社不二越東日本支社副支社長村井道男様の締めのご挨拶にて今年の京二会も皆様のご協力により盛況のうちに終わることが出来ました。



左：株洲ダイヤモンド切削工具 塗副総経理  
右：京二 執行役員 俞箴潔



JIMTOF2016 出展ブース



ニュースダイジェスト社  
岩波 取締役

# 部門長の抱負

2017年



## 平成 29 年度 私の抱負

上席執行役員  
大坂道明



新年明けましておめでとうございます。  
 昨年は、過去前2期連続で続いた50億台売上を達成することができず、46億台での売上で決算を終えたことは誠に無念の1年でもありました。又、昨年は外部的には、英国のEU離脱・米国の大統領選挙、他欧州国での年末、今春での国政選挙でのポピュリズム化の動き中で、金融市場は混乱を極めたし、今年もしばらく変化の激しい年になりそうです。一方、内部的には、流通変化に伴う売上減少等厳しい年でもありました。そうした状況下、京二自体は益々、強固な基盤造りが急務と考えます。本年は将来に向けた部品の案件引出・開発・取込の強化並びに新たな分野への進出等が急務と考えます。そうした基盤造りに邁進いたしますので、本年も引き続き、ご指導、ご支援のほど、宜しく願い申し上げます。

## 新年の抱負

執行役員 社長室長  
砂田京子



皆さま 本年もよろしくお祈りします。  
 今年の干支は「酉」です、十二支にはいろんな意味が含まれていますが、「酉」年はすこぶる縁起の良い年と言われています。それから、「酉」年はサルとイヌに挟まれておりますが、これにも意味があるそうで、仲の悪いものの中に入って「トリ」持つ役割でもあるそうです。さて今年の会社目標である、営業開拓活動で新規顧客の開拓、産業用ロボットや中国製工業用品の拡販そして販売管理の強化、販管費の抑制に努め、達成に向けてまいります。いずれにしても、皆さんの協力なくしては一步も前に進みません。  
 「酉」の縁起にあやかり、社内や各営業所間を「トリ」持つ総務として頑張っていきたいと思っておりますので、今年もよろしくお祈りします。

## 2016年 新春の抱負

千葉営業所 所長  
市川忠能



明けましておめでとうございます。  
 本年もよろしくお願い致します。  
 昨年10月1日より千葉営業所長となりました市川忠能です。よろしくお祈りします。  
 千葉営業所は、千葉県・茨城県・埼玉県・都内と広いエリアのカスタマーを担当しています。京二の要となっている営業所を任せられた事に大きな責任を感じておりますが、気負わず一步一步所員と協力して進んでいきたいと思っております。我々機械工具商社を取り巻く環境はすごいスピードで変化をしており、今までと同じ事をやっていると取り残されてしまいます。取り残されないようやるべき事を一つでも達成していかなければならないと思っております。そして新しい時代にあった営業所創りをしていきたいと思っております。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお祈り申し上げます。

## 新年の ごあいさつ

南関東営業所 所長  
佐藤真広



新年あけましておめでとうございます。  
新しい年を迎え、弊社の営業内容も著しく変化して参りました。昨年は新規開拓で十数社の顧客を定期訪問し、口座を取得した件数は南関東だけで5社に及びました。これは中国工具ではなく、油圧、軸受の部品開拓を中心に活動した顧客となっております。また、昨年はJIMTOFに出展した中国工具が10年の節目を迎える年となりました。新しい商品としてCBNフライスカッタ、パーオフツールを加え、こちらもお客様に大変興味を持って頂いております。南関東営業所は神奈川だけでなく、静岡から西関東に向けエリアを広げる所存で頑張っております。エリアは拡大の一途ですが既存のお客様にご迷惑をお掛けしないよう、サービス向上に努めたいと考えております。

## 新年の抱負

東北営業所 所長  
会田宏幸



新年明けましておめでとうございます。  
本年が皆様にとって、より良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。  
今年は酉年にあたっており、私まさしく年男です。文献を見ると、『にわとりは』明け方に鳴く鳥で新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされているようです。商売関係でも縁起のよい干支で『とり⇒とりこむ』で商売に繋がるとされており、行動力があり、積極的。親切で世話好きであるという意味もあるそうです。  
酉年の持つ意味合いを意識して、皆様が商売繁盛に繋がりますよう一年間活動して参りたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

## 新年の ごあいさつ

開発部  
社長付マネージャー  
藤野大介



新年明けましておめでとうございます。  
昨年は熱狂したはずのリオオリンピックがかすんでしまう程さまざまな出来事があり変化に富んだ一年でした。開発部でも新しいお客様、新しい商材の取り組みに力を入れてきました。皆様のご協力もあり少しずつ成果を感じることが出来ています。本年も継続してチャレンジしていきたいと思っております。特に今までの京二のイメージには無い、アルミダイキャスト部品や鋳物部品などのご提案に力を入れて取り組んでまいります。本年も変わらぬお引き立ての程宜しくお祈り申し上げます。

## 謹賀新年

北関東営業所 所長  
今泉秀美



新年明けましておめでとうございます。  
新年を迎えたとはいえ我々を取り巻く環境は不透明で変化や動きが速い状態になっていることで、益々厳しくなるであろうことに不安を感じています。ではこの不安を取り除く為に『なにをどうすべきか』が大きな課題になります。中長期計画の視点からと今期方針を所内で何度も確認しながら変化をチャンスへと繁栄できる活動をしていきたいと考えています。また昨年のJIMTOFでは、やはり日本のものづくりは丁寧で安価で作ることができる世界の産業界の中でも優れた特性を持っていると感じました。その優れた製品をお客様に提供し続けながら弊社の特徴をだし信頼され喜んでいただける販売店にしていきたく思います。また商社は人が決めてなので所員の育成も行なってまいります。お客様、仕入先様と共に重点案件を取り組み尊敬あいながら成長して行きたいと思っております。  
まずは皆様が今年好スタートを切るためにも開発プロジェクト製品や困っている事その他において全力で対応させていただきますので本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

kyoni